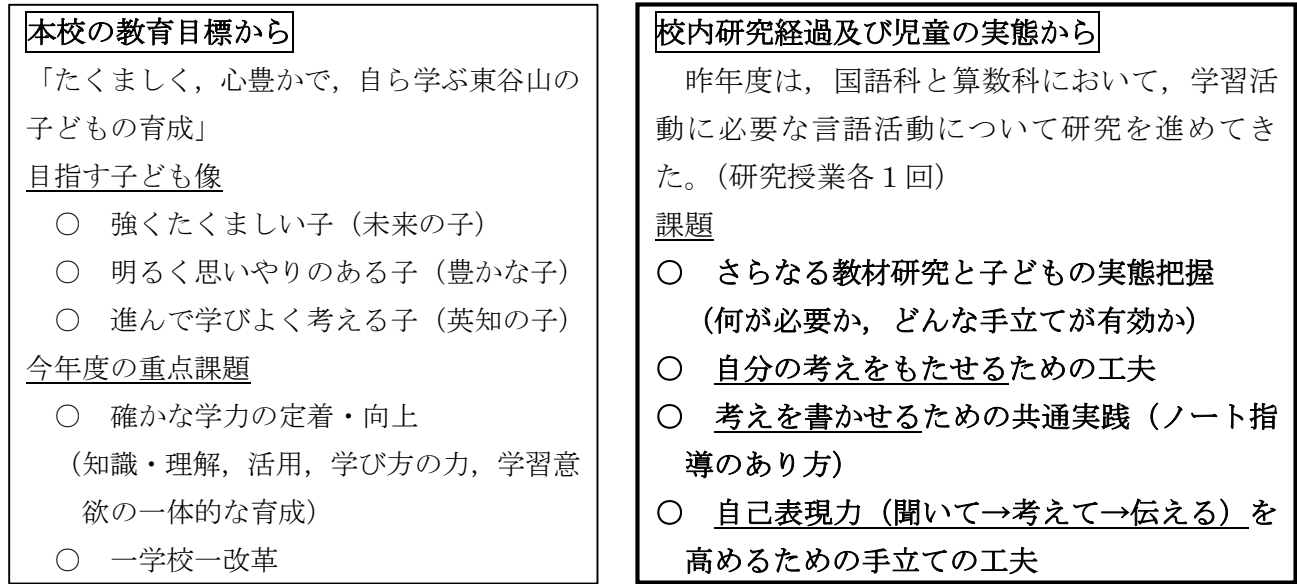


平成23年度鹿児島市立東谷山小学校「研究実践の概要」

1 本年度の研究主題とその設定理由



1 研究主題

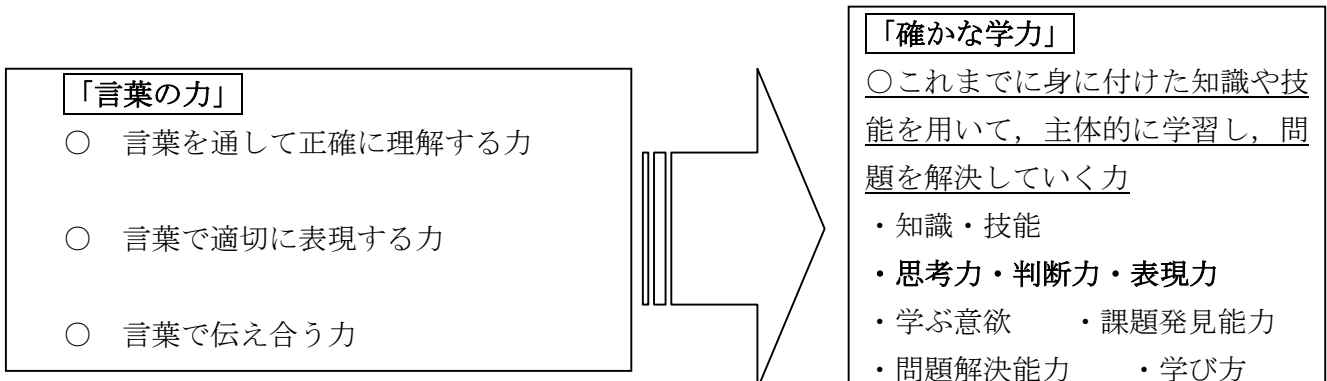
言葉の力をはぐくみ、確かな学力を高める学習指導はどうあればよいか（2年次）
～論理的思考力を育てる説明的文章の学習指導の在り方～

今日的な教育の課題から

- 新学習指導要領の目指すもの
「確かな学力」を基盤とした「生きる力」の育成
「確かな学力」のためには、「言葉の力」がその基盤として重視されなければならない
↓
国語科を中心に、全ての教科・領域の教育活動において
「言葉の力」の育成を念頭におかなければならない

2 研究主題のとらえ方

「言葉の力」をはぐくむことで「確かな学力」を高める



3 サブテーマ「論理的思考力を育てる説明的文章の学習指導の在り方」について

論理的思考力とは、「言語を手掛かりにして、筋道を立てて考える力」である。説明的な文章は、筆者が具体的な事実、実験や観察の結果等を述べながら、自分の考えや主張を分かりやすく論理的に書いた文章である。説明的文章を読むことの学習を通して、書かれている言葉の意味を深く考え、論理的に思考しながら、言葉で表現することができる子どもを育てていくことが、言葉の力をはぐくむことにつながると考え、サブテーマとして、「論理的思考力を育てる説明的文章の学習指導の在り方」を設定した。

これまでの説明的文章の授業を振り返ってみると、単に書かれていることを理解させることに重点を置き、どのような方法で書かれているか、筆者のどのような考えが述べられているか、そのことについて自分はどうか考えるか、自分の表現にどう生かしていくのかという点が不十分であった。授業の中でどんな力を身に付けるのか、何のためにその力を付けるのかを明確にして、学んだことを活用して定着を図る場を設定することが必要である。

そこで、説明的な文章を読み、筆者の論理的な文章の内容や表現方法を理解した上で、筆者の考えや主張に迫り、自分の考えをもったり、自分の考えを分かりやすく文章にする方法を学んだりする。そして、学習した表現方法を生かして、自分の考えを分かりやすく文章に書く学習を展開する。自分の考えをもつことができるようにすることで、論理的思考力をはぐくみ、自分の考えを書いて整理し、伝える学習活動によって論理的思考力を深めることができるのではないかと考える。

説明的な文章における論理的思考力については、学習指導要領をもとに、次のように系統立ててとらえることにした。

【説明的な文章における論理的な思考力】

1・2年	・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読みとったり書いたりする力
3・4年	・目的に応じて中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考えながら読みとったり書いたりする力
5・6年	・内容や要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、文章全体の構成の効果を考えながら読みとったり書いたりする力

4 研究の仮説

説明的文章において、身に付けさせたい力を明確にし、読んで理解したことを表現に生かす学習活動を展開すれば、論理的思考力をはぐくむことができ、言葉の力の育成につながるのではないだろうか。

「身に付けさせたい力」…年間に3つの説明的文章が扱われているが、それぞれの教材文の特徴からどの教材文でどのような力を身に付けさせたいのか明確にし、焦点化する。

「読んで理解したことを表現に生かす学習活動」…文章に書いて自分の考えを整理する学習活動

筆者の表現方法を学び、自分の表現に生かす学習活動

5 目指す子どもの姿

進んで説明的文章を読み、文章の内容や表現の仕方、筆者の考え等に対して自分なりの考えをもち、学んだことを表現に生かそうとする子ども

6 研究の内容と方法

理論研究・・・研究推進委員会から提案

○「読みの観点」（何をもとに読みとらせればよいのか）と「考える方法」（どのように読みとらせていけばよいのか）について研究する。

授業研究・・・各学年または各学年部

〈視点1〉身に付けさせたい力を明確にし、自分の考えをもたせるために（今年度は視点1を中心に）

○「読みの観点」と「考える方法」をもとに、教材文の特徴から身に付けさせたい力を明確にする。

○身に付けさせたい力をもとに、教材文で押さえるべき文章表現（キーワード、キーセンテンス）を明確にする。→指導内容の明確化

○子ども一人ひとりの思考を助ける手立ての工夫
→発問の工夫、ワークシートの作成・活用、ノート指導等

〈視点2〉自分の表現に生かすことができるように

○学習を通して学んだことを自分の言葉でまとめさせる学習活動の設定・・・「ふりかえる」段階で
→学んだことを整理し、必要な場面で想起できるようにさせるため

○学んだことを生かす単元構成の工夫（単元の指導計画の工夫）

身に付けさせたい力に応じて、単元の構成も工夫する必要がある。

ア 教材文で「読む」力を身に付け、さらに定着させるために「書く」活動を単元の中に繰り返し設定する単元構成

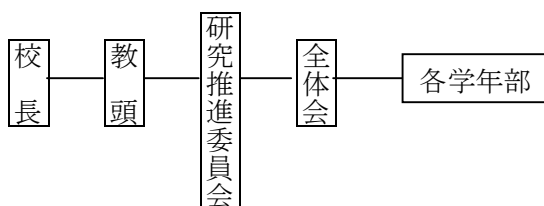
イ「書くこと」を意識させて「読むこと」を展開する単元構成

教材文を読み取った後、すぐに文章を書かせるという単元構成ではなく、「構成の読み取り」と「記述」に分けて単元を構成する

例：まず、教材文で全体の構成を読み取り、自分が伝えたいことを整理して文章構成を考える。

次に、教材文で表現の工夫を読み取り、自分の文章表現を工夫する。

7 研究組織について



8 研修計画

月	日	曜日	研究推進委員会	全体研修
6	20	月		研究主題・仮説等について再検討・確認 各学年部での話し合い
夏 季 休 業 中			全体会で提案する理論検討 夏季休業中のテーマ研修の 内容検討	学年会または全体会 → 全体で共通理解し、2学期から取り組んで いけるようにする。 指導案（略案）検討（各学年部）
9	6	火	2学期のテーマ研修の進 め方について（夏季休業中に 話し合ったことの確認）	
9	22	木		全体会・学年会 指導案（略案）検討
10	25	火	研究授業に向けて 授業研究の視点の確認・ 係分担	
11	8	月		研究授業：（2・4・6年） 授業研究：（低・中・高 分科会形式）
11	18	金	29日の研修内容について の確認・準備	
11	28	月		研究授業研究分科会報告 各学年での取組・課題の発表 今後の授業実践に生かすための話し合い
1	19	木	2月6日の研修内容につい ての確認・準備	
2	6	月		今年度の反省と来年度の校内研修について

※ 今年度は、略案程度の指導案で、研究授業・授業研究会をもつ。各学年部でお互いに授業を見合
う時間を設定するなどして、授業改善に向けた取組をしていきたい。

9 研究の実際

(1) 研究推進委員会の取組

- 読みの観点と考える方法についての研究
- 学習指導案の形式について提案

(2) 各学年部の取組

- 教材文分析（教材文の分析をし，どんな力を身に付けさせるか明確にする）
- 指導案検討
 - 2年国語「しかけカードの作り方」
 - 4年国語「アップとルーズで伝える」
 - 6年国語「『鳥獣戯画』を読む」
- 研究授業
- 授業研究（分科会）

10 今後の予定

11月 7日（月）	研究授業 2年国語「しかけカードの作り方」 4年国語「アップとルーズで伝える」 6年国語「『鳥獣戯画』を読む」 授業研究（分科会・全体会）
11月28日（月）	各学年部の実践報告 今後の授業実践に生かすための話合い
冬季休業中	各学年の実践報告のまとめ
2月 6日（月）	今年度の研修のまとめと来年度の研修内容について話合い

読みの観点と考える方法

学年	指導内容に関するキーワード (※県総合教育センター指導資料 国語科114号より)	考える方法
1・2	<ul style="list-style-type: none"> ・時間的な順序, 事柄の順序 ・内容の大体 ・大事な言葉や文 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">比較</div> <p style="margin-left: 20px;">同じようなところを比べる＝類比 違うところを比べる＝対比</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">順序</div> <p style="margin-left: 20px;">時間の順序 空間の順序（上⇔下 左⇔右 高⇔低） 論理の順序（演繹的⇔帰納的 原因⇔結果） 説得の順序（既知⇔未知, 単純⇔複雑 易⇔難 全体⇔部分）</p>
3・4	<ul style="list-style-type: none"> ・中心となる語や文 ・段落相互の関係 ・事実と意見との関係 ・要点 ・文章の引用, 要約 	<p style="margin-left: 20px;">過程, 変化, 発展</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">理由・根拠・原因</div>
5・6	<ul style="list-style-type: none"> ・要旨 ・事実と感想, 意見などの関係 ・自分の考え 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">類別（分類）</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">条件・仮定・予想</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">構造・関係・機能</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">選択（表現の効果や表現の工夫）</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">仮説（可能性を見通して仮説を立てる）</div> <p style="margin-left: 20px;">模式（パターン）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">相関, 類推</div>